

# 令和4年度 ワークセンター夢の樹就労移行支援 事業報告書

## 1 総括

令和4年度も、これまで通り個別支援の重視、求職活動における丁寧なマッチング、本人と企業双方を重視した職場定着支援、利用者確保を重点課題として取り組んだ。

日々の活動や、就職活動においては新型コロナウイルスの影響は少なくなっており、求人数や面接会などの開催数も概ね回復してきたと感じる。就職者数は昨年度よりも1名多い6名が就職し離職者は出なかった。安定して就職者を輩出している一方で、令和4年度は2名の利用者が就職以外での退所となった。2名共に利用期間満了で、就労継続支援B型事業所の利用となった。

新型コロナウイルスの影響は少なくなったとはいえ流行は続いており、当事業所でも日々の消毒など感染対策を講じていたが、年間で職員3名、利用者2名が罹患した。幸いにも重症化や感染の拡大には至らず、事業運営に大きな影響はなかったが、今後も油断せず継続して感染対策を行っていききたい。

経営的には、毎年安定して就職者を輩出してきたことや、6名が新規に利用を開始したことなどもあり、概ね安定した1年だった。

## 2 事業概要

- 1) 施設名           ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別       就労移行支援
- 3) 所在地         東京都小平市大沼町2-1-3
- 4) 経営主体       社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員       10名
- 6) 利用現員       10名（令和5年3月31日時点）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年 4月 1日
- 9) 職員           管理者 1名  
                  サービス管理責任者 2名（兼務：常勤換算1.2）  
                  職業指導員 2名（常勤換算0.7）  
                  生活支援員 1名（常勤換算1.0）  
                  就労支援員 1名（常勤換算0.8）

- 3 基本理念       一人ひとりの自己実現。  
                  互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。  
                  安心と希望のもてる生活。

- 4 基本方針       個々に合った活動・実践的訓練  
                  情報、訓練方法等の共有  
                  計画的支援（計画→実行→評価→計画の見直し→実行）  
                  訓練・相談・求職活動の一体的支援

## 5 実施事業（活動内容）

### 1) 就労移行支援の流れと内容

#### (1) 支援の流れと方法

- ・利用前会議
- ・本人把握プログラム
- ・支援計画（スケールマップ、個別支援計画、活動計画）の作成と定期的見直し

#### (2) 利用前会議

- ・基本情報の確認、共有。  
就労移行支援事業の利用開始前の段階で、利用者に関する基本情報について共有する為にケース会議を実施する。基本情報は就労支援センターを含め関係機関からの情報を得る。
- ・本人把握のためのプログラムおよび把握期間の決定。  
ケース会議では、本人の状況に応じた訓練プログラムと実施期間を決定する。

### (3) 本人把握プログラム

- ・把握期間：1～3か月（利用者の状況による）。
- ・把握方法：通常のプログラム時の観察・評価
- ・把握期間終了時に、日常生活面、作業能力、社会性の項目で整理し、個別支援計画やスケールマップに反映させる。

### (4) 支援計画（スケールマップ、個別支援計画）

- ・利用前実習でのアセスメントや事前に共有できた情報を基に、通所開始当初の個別支援計画とスケールマップを作成し、職員間で内容を検討する。その後週ごとに支援計画会議を実施し計画の評価、見直しを行う。

### (5) その他のプログラム

- ・就労準備支援を意識した、各種プログラムの実施（随時）
- ・就労アセスメントの実施（随時）
- ・市役所や企業での実習、企業見学等の施設外支援

## 2) 作業種別

銀の皿はし・しょうゆセット作り  
銀の皿しゃもじセット作り  
受注作業（ダイレクトメール等）

## 3) 外部実習

市役所実習  
市役所販売  
多摩済生園清掃実習  
企業実習

## 4) 企業見学

新型コロナウイルスの影響が不透明であり未定。

## 6 日 課

職員打ち合わせ、作業準備	8：30～ 9：00
朝礼、体操、あいさつ練習	9：00～ 9：15
清掃	9：15～ 9：30
訓練プログラム（作業）	9：30～12：00
休憩	12：00～13：00
訓練プログラム	13：05～14：30
休憩	14：30～14：40
ストレッチ	14：30～14：40

訓練プログラム	14:40～16:20
清掃、日誌記入、終礼	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

## 7 重点課題・目標

### 1) 活動

#### (1) 個別支援の重視

##### ①個々の状況に応じた計画的な支援

利用者個々の状況に応じた個別支援計画や就職までのスケールマップ作成を行う。利用者とは月1回以上面談を行い、本人の希望や訓練状況の変化に応じて計画を変更する。

##### ②職業準備訓練の充実

###### ア、作業訓練

受注作業を通して、報連相などの基本的な労働習慣を習得する。

###### イ、訓練プログラムの充実

利用者が希望する職種に合わせ、提供する訓練プログラムの内容を職員ミーティングで検討し実施する。また、利用者に希望する訓練プログラムを確認し、新たに実施できるものがないか検討する。

###### ウ、面接訓練

通常の面接練習に加え、コロナ禍への対応としてオンライン面接の練習を行う。

###### エ、社会人として必要な社会性やビジネスマナーの習得

社会生活上必要と思われる知識や社会性、職場などで想定されるコミュニケーションなどを習得するため、ビジネスマナー講座やグループワークなどを実施する。

###### オ、利用者の心身の健康を保つ

必要に応じて面談等を実施し、困っていることや不安に感じていること、体調管理についてのアドバイスや対策を行う。また、訓練プログラムの一環でストレス解消の取り組みも行う。

#### 【成果と課題】

月1回以上の面談などで、就職に向けての目標や課題、希望などを確認し、必要に応じ計画を見直した。令和4年度は、利用者から希望のあったメールソフトのテキストを購入し、新たに訓練プログラムに取り入れた。就職活動中の利用者からは面接練習の希望が多く、実際の面接試験の実施方法に応じて、オンラインや対面での練習を行った。練習を重ねることで受け答えが上達し、面接試験に活かせることが多かった。グループワークでも新たな教材を導入し、「会話を終える」「会話を続ける」「感情のコントロール」など具体的なテーマに沿って実施し、社会性やコミュニケーションについての知識の習得が進んだと感じている。利用者の体調面や心情面は概ね安定しており、職業準備訓練は順調に行えたと感じている。

#### (2) 丁寧なマッチングによる就職活動支援 - 目標就職者数4名

##### ①利用者、企業双方に必要な情報を提供する。

利用者には求人の仕事内容や通勤経路等の情報を伝え、企業には利用者プロフィールシートを提出し、利用者の特性や配慮事項等を伝える。

##### ②職場実習などの施設外支援や職場見学などを行う。

入社を決める前に可能な限り職場見学や実習を行い、マッチングを確認する。

#### 【成果と課題】

5月に1名、6月に2名、7月に1名、10月に1名、3月に1名の計6名の就職者を輩出し、目標の就職者数を達成することができた。就職した全員が企業にプロフィールシートを提出し、職場実習や見学でマッチングを確認した上で入社を決めた。令和3年度と同様に、6月1日の障害者雇用状況調査の時期に合わせて、集中的に就職活動を行ったことが就職に結びついた要因の1つと考えている。7月と10月に就職した2名は、当事業所からの就職実績がある企業への就職であり、企業との関係性の大切さを改めて認識した。

総括に記載の通り、退所は2名で2名共に就職を希望していたが、体調不良やマッチングする企業が見つからず、期間満了となってしまった。2名共に就労継続支援B型事業所へ通所となったが、1名は企業就労への再チャレンジを目指し、他の1名は将来の進路を検討中とのことである。

### (3) 就労定着支援の充実

#### ①本人支援

職場での対人関係や環境の把握に努め、企業が求める人物像や業務内容を本人に伝えるなど、職場適応支援を行う。

#### ②企業支援

就職者の業務内容、対人関係、職場環境等に関する企業からの相談を受け、就職者の特性に応じた対応について助言を行う。

#### ③新型コロナウイルスの流行に対応した定着支援

メールやオンライン面談、本人の自宅訪問、来所面談などで状況を確認する。また、自宅待機となった就職者を受け入れ、体力低下や生活リズムの乱れを防ぐとともに、面談等により精神的な安定を図る。

#### 【成果と課題】

概ね月1回の職場訪問を行い本人また企業の状況や意向を確認した。就職者6名の勤務先は、新型コロナウイルスの影響による勤務形態の変化などはなく、概ね計画通りの定着支援が行え、順調に就業が継続している。就職者6名のうち4名は、当事業所と一体的に運営している就労定着支援の利用を開始し、残りの2名も利用を希望している。また、企業には利用者の職場適応に必要な情報提供や助言を行い、職場環境や人間関係での提案など適応支援を行った。

### (4) 就労継続支援B型事業利用希望者のアセスメントの実施

軽作業、漢字テスト、計算問題等のプログラムを実施し、作業能力、持続力、集中力、またコミュニケーション能力などの社会性についての評価を実施する。

#### 【成果と課題】

就労継続支援B型事業利用希望者のアセスメントを4名実施した。軽作業や漢字テスト、計算問題などを実施し、作業能力や持続性、また報告、連絡、相談等のコミュニケーション能力の評価を行った。評価結果は4名とも就労継続支援B型事業の利用が適当となった。

## 2) 人材育成

### (1) 職業指導員、生活支援員、就労支援員

#### 【到達目標】

- ①リーダー層の育成
- ②業務標準化の実施。

#### 【成果と課題】

- ①他事業所の職員を含めリーダー候補者の選抜を行った。候補者は3回実地研修を行い、令和5年度も実地研修を行う予定である。
- ②ミーティングで支援内容を共有している他、2人体制で訪問や面談を行うことで、支援方法などについて意見交換が活発に行え、概ね統一した方針で支援にあたれていると感じる。

## 3) 経営管理

(1) 訓練等給付費収入安定のため、新規利用者確保の目標人数を5名とする。(収支均衡のためには1日平均利用者数8名以上が必要)

- ①近隣の関係機関リストをもとに、特別支援学校、就労支援センターなどへ利用者募集を行う。コロナ禍での活動として、訪問が難しい場合は電話やメール、オンライン面談を活用し、関係性の継続と強化を図る。過去の紹介実績を基に、効果の高い関係機関に重点を置くとともに新規の関係機関の開拓を行う。

- ②法人機関紙およびホームページへのチラシ掲載などの広報活動を行う。
- ③バウムの利用者状況を確認し、ステップアップ候補者の発掘に取り組む。

【成果と課題】

関係機関への訪問による利用者確保の取組は新型コロナウイルス感染防止の観点から、利用希望者の紹介実績や紹介の見込がある関係機関に重点を置き行った。見学や実習の問い合わせは定期的であり、一定の効果はあったと感じる。また、baumからはステップアップ候補者7名が実習を行った。内1名が6月から利用となり、1名は令和5年度から利用を開始する予定である。他の5名は利用を希望しなかったが、環境の変化への不安がその一因と推察されることから、令和5年度も引き続きbaumから実習を受け入れていくことで、不安感の解消に努めていきたい。新規利用者は6名で年度の目標を達成し、令和4年度の1日平均利用者数は9.0名で黒字収支となった。

(2) 月次試算を正確に行い、計画的に予算を執行する。

【成果と課題】

適切に予算の補正を行い計画的に執行できた。

(3) 経費削減を徹底する。

- ①未使用スペースの消灯等節電の徹底。
- ②整理整頓により、備品、消耗品等の在庫管理を徹底する。
- ③印刷物については必要枚数の確認や、枚数の多いものについては試し刷りを行うなど無駄な印刷を行わないようにする。

【成果と課題】

節電や消耗品の在庫管理、印刷前の確認などは概ね実施できており、無駄な支出は抑えられている。

8 その他の成果と課題

職員3名と利用者2名が新型コロナウイルス感染症に罹患したが、幸いにも重症者はおらず、感染が拡大することもなかった。

9月に希望する利用者、職員に対して新型コロナウイルス4回目のワクチン接種を、12月にインフルエンザワクチン接種を実施した。

9 事故等報告

- 1) なし。

10 開所状況

- 1) 開所期間 自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日
- 2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間
- (2) 開所時間 午前9時～午後5時
- (3) 年間延開所日数 243日間
- (4) 平均活動時間 4.8時間

11 利用状況

- 1) 利用者延人員 2,183人 (前年度 2,210人)
- 2) 1日平均利用人員 9.0人 (前年度 9.1人)
- 3) 体験実習者延人員 105人 (前年度 93人)
- 4) 1日平均実習人員 0.4人 (前年度 0.4人)
- 5) 実習者実人員 24人 (前年度 14人)
- 6) 企業内実習者延人員 147人 (前年度 83人)
- 7) 就労継続支援B型アセスメント利用人員 4人 (前年度3人)

12 利用者状況 (令和5年3月31日現在)

1) 年齢	
18歳以上20歳未満	1名
20歳以上30歳未満	2名
30歳以上40歳未満	6名
40歳以上50歳未満	1名
50歳以上60歳未満	0名

2) 障害の状況	
愛の手帳4度(東京都)	4名
精神障害者保健福祉手帳2級	1名
精神障害者保健福祉手帳3級	4名
身体障害者手帳1級	1名

3) 通所手段	
交通機関利用	6名
徒歩等	4名

4) 居住状況	
管内居住	8名
管外居住	2名

5) 性別	
男性	5名
女性	5名

1.3 利用者工賃	
平均工賃	1人 月額 : 5,216円 (前年度 4,693円)
	日給 : 313円 (前年度 284円)

1.4 就労者の状況・ステップアップの状況等	
今年度就労者	・・・6名 (内離職者0名)
今年度ステップアップ者	・・・1名 (内就職者0名)

1.5 環境の整備  
職員、利用者が毎日、室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

1.6 防災計画  
災害時避難訓練を年2回実施した。また、小平手をつなぐ親の会と共催で実施した防災訓練に参加した。